

# 「もっと身近に赤十字を」

“もっと赤十字を身近に感じてほしい”

そんな思いをきっかけに、平成20年から開催しているイベント「赤十字ふれあい広場」を5月8日(日)、イオンモール羽生で開催しました。

広く県民の皆様には赤十字運動への参加を周知するため、「献血」・「救命手当体験(AEDの使い方)」・「救護服を試着しての記念写真サービス」などを行いました。

今回はドン・アルマス<sup>(\*)</sup>さんに参加いただき、救命手当の体験や癒しのコンサートを行いました。

「献血」には222名もの多くの方々のご協力をいただくことができ、「救命手当体験コーナー」は親子での参加が多く、子供さんが一生懸命心臓マッサージをしている姿が印象的でした。今後も赤十字活動とふれあえるイベントを開催しますので、ぜひご参加ください。

※「ドン・アルマス」さん(フラメンコギターとパーカッションによる3ピースユニット)



小さな子どもさんも体験



親子で「ハイチーズ」(記念撮影)



ご協力ありがとうございます  
(献血受付風景)



追悼の言葉を述べる上田支部長

## ■殉職救護員追悼式を 挙行了しました

5月26日(木)、ご遺族、看護師同方会及び関係者約200名の参列の中、新社屋に慰霊碑を移転してから初めての第54回殉職救護員追悼式が執り行われました。

先の大戦終結から66年も前の年月が過ぎ去りましたが、私たちは、毎年32名の御霊に祈りを捧げることにより、戦争の悲惨さや平和の尊さも伝えていかななくてはならない使命があります。

当日は、日赤埼玉県支部長の上田清司埼玉県知事、看護師同方会の大澤ヨシ子支部長が追悼の言葉を述べ、代表者が献花をした後、さいたま赤十字看護専門学校の学生による「四方のくに」の斉唱が行われました。

埼玉県支部にお越しの際は、皆さんもぜひ慰霊碑をお参りください。



新社屋敷地内に移転した慰霊碑